

思春期を健やかに過ごすために

～大人が変われば子どもが変わる～



思春期は、自分を見つめるようになり、他人の目を気にするようになる時期です。イメージすることや人の気持ちを読み取ることなどが苦手な発達障がいの子供は、自分と他人との違いを感じて孤立感を深めてしまったり、自分がどう思われているのか分からずに混乱したりすることがあります。また、思春期の頃から対人関係が複雑になり、周りとのギャップが次第に大きくなるために、発達障がいの特性による生きづらさが表面化しやすくなります。(参考:国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センターHP「発達障害に気づく」より)

お子さんが思春期を迎えた方もこれから迎える方も、思春期を健やかに過ごすために思春期の育ちと課題、子育て(支援)をしていく上で心がけておきたい対応について一緒に考えてみませんか。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時 令和5年8月25日(金) 13:30～16:00 (受付:13:00～)

場所 市民プラザたけふ3階 多目的室1 (アル・プラザ武生3階)

講師 福井大学病院 子どものこころの発達研究センター
地域こころの支援部門(県寄付講座) 准教授 **森本 武志 氏**

定員 80名

対象 子育て中の保護者やご家族の方
子どもに関わる地域の支援者の方
(教員・相談支援専門員・放課後等デイサービス職員・学童保育職員・スクールカウンセラーなど)

お願い 下記より事前学習をしてから研修会に参加してください(20分程度)



URL: <https://youtu.be/bLoWnWgxSpo>

申込方法 下記よりオンライン申し込みフォームをご入力ください



<https://shinsei.e-fukui.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=9YJSM0ys>

お申し込み期限 8月23日(水)

【お問い合わせ先】
越前市 市民福祉部 こども家庭課
子ども・子育て総合相談室内
児童発達支援センターなないろ
TEL:0778-22-3628